

あとかき

当協会にて、四半世紀以上前に作成・発行を開始した調査研究報告書は、一昨年度より印刷物としての発行・配布から、Webでの閲覧をベースとしたデジタル版へと姿を変えた。そのために当サポートサービス委員会の中に設置したデジタル化推進チームでは、毎年構成メンバーを一部入れ替えて、追加の取り組みを進めている。本年度は特に、①分かりやすさ、②探しやすさ、③活動の周知を大きな主題として取り組んだ。具体的には、①昨年度から作成開始した「報告書概要版」をイラストベースで簡易に読めるものに一新、②報告書などの掲載ページを探しやすくするためにホームページのデザインや構成を変更、③一部メンバー会社の中で、当委員会の活動を広く知ってもらう取り組みなどの活動を進めた。

報告書のテーマは、5年間採用してきた「働き方改革」を「セキュリティー」に変え、「デジタルトランスフォーメーション（DX）」との組み合わせとした。ちょうど当協会では、本年度より新しくセキュリティー委員会が設立され、セミナー開催など種々活動を開始したところで、業界や会員各社の興味やニーズに合致できたものと思う。

また、昨年度より事例中心の内容に変更した解説書も、報告書と同じく「セキュリティー」と「DX」をテーマとして、多くの委員会メンバーが、自社事例から公開可能なものを追加して拠出・執筆した。大変興味深い内容が掲載されていると自負しているが、広く一般に公開されているので、ぜひ多くの方々に参考にしていただきたい。

さて、本年度は当委員会メンバー会社が2社増えて、14社となり、人数も12名増えて56名の体制となった。当協会で構成メンバー数の最も多い委員会である。また、その内女性が5名から大幅に増えて15名となり、全体の4分の1以上を占めており、本年度の当協会のテーマの一つである「女性活躍推進」にも貢献することができたと思う。委員会活動を進める上で重要な企画・報告・検討の場としては、4回の主委員会、8回のワーキングチーム会議、7回の執筆会議、さらに17回のデジタル化推進チーム会議を開催した。コロナ禍への対応も和らいでくる中、主委員会のうち3回は懇親会付きのリアル会議とし、執筆会議やデジタル化推進チーム会議のように参加メンバー限定のものは、数回ずつリアル会議として実施した。ただし、適宜オンライン参加併用のハイブリッド開催として、出席者への便宜を図った。全体としては、4分の3ほどはオンライン開催であるが、「実際に合って話し合える場は大変貴重で有用である」との声も多く、今後リアル会議の機会は増えていくものと思われる。

このように、多くの人手と時間をかけて作成した本報告書や解説書（事例集）が、より多くのご協力会社、協会会員、および広く関係各位の参考になり、ビジネスのお役に立つことを、委員会メンバー一同とともに切に願っている。

一般社団法人 日本コンピュータシステム販売店協会
サポートサービス委員会 事務局